朝日寺だより

発行者　若松隆英
総代会
印刷者　奥山印刷

ご開帳に向かう平成23年！

住職　**若松隆英**

壇信徒の皆様、あけましておめでとうございます。皆様良いお年をお迎えのことと存じ上げます。昨年も皆様にはいろいろなご協力を頂き、誠にありがとうございました。

朝日寺にとって平成23年は、3年後(平成26年)に迫った本尊薬師如来様(市重要文化財)の33年に一度のご開帳に向けて、そろそろ本腰を入れた計画・取り組みをすべき年だと思います。と言いますのも、開帳に向けて1年5千円×5ヵ年のご寄付をお願いし、新駐車場の整備等をして参りました。今年は5ヵ年計画最後の年となりますので、開帳法会の具体的な内容や予算等を考え、準備を進めていきたいと考えております。

皆様ご理解ご協力何卒重ね重ねお願い申し上げます。

5月8日の花まつりは平成19年より、ご開帳に向けて拡大して開催しておりますが、昨年は土曜開催とあって一段と賑やかでした。また昨年は慶隆副住職が高野山で御詠歌の教師資格を取得して来ました。朝日寺で御詠歌が始まったのも前回のご開帳(昭和56年)がきっかけでした。どうかみんなの力で朝日寺にとってこの上なく重要な行事、ご開帳を成功へと導きましょう！

さて、目を外に向けますと、昨年もいろいろな出来事がありました。話題になった出来事の中で、特に考えさせられたのが『消えた高齢者問題』。個人主義が広まり、段々と人付き合いが希薄になってゆき、高齢者の死が放置されるという究極の結果です。こんな時代に寺院・僧侶は何ができるかと考えた時、こういった問題を未然に防いでいくだけでなく、むしろ家族親族の絆を強めていける役割があると考えます。亡くなるとその方が弔い上げられるまで50年かかります。死は寂しいことではありますが、通夜・葬儀…四十九日・一周忌…五十回忌と続く法要は新たな人間関係が築かれたり絆が深まる、故人が与えてくれた貴重な機会です。また、ご先祖を敬う姿は必ず子供や孫に伝わります。今年も我々はその良いお手伝いができるならば、幸いでございます。

地元地域の話題では、錦海塩田跡地のことが問題となっております。活用方法等、様々な人の知恵が集められているところでしょうが、朝日寺にとりましてもこの地域の活性化が図られる良い方向に話が進むことを願って止みません。

最後に、暗い世の中にあって「いとかわ」の石を幾多の困難を乗り越え持ち帰った「はやぶさ」には多くの人が感動しました。私も昨夏は灼熱と少雨の中で裏山ツツジ庭園に水やりをしました。大変でしたが、今年もゴールデンウィークごろには華々しく咲き誇り、皆さんに喜んで頂けることを思うと苦労も喜びの中にあると思い、前を向けます。皆さんも何かひとつでもそんな喜びを得られる一年にしませんか？今年一年が皆様にとって良い年になりますことを心より祈念し、新年のごあいさつと致します。

合掌

年頭に当って

総代長　**清水佐伯男**（きみお）

壇信徒の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様おそろいで新しい年を迎え、心新たにされたことと存じ上げます。

旧年中は大変お世話になりました。

檀家の皆様、総代の方々のご協力によりましてお寺の行事も盛大に行なうことが出来ました。心より御礼申し上げます。

どの行事も天候に恵まれました、これは檀家の皆様方の日頃の行いの良さだと思います。

2月3日の節分会には家内安全、健康、交通安全、またそれぞれ願い事等ろうそくに託して住職によりお願いいたしました。

たくさんの方のお参りをいただき、また福引きも和気藹々と盛大に行なうことが出来ました。

5月8日の花まつり（第四回薬師如来祈願法会）には檀家をはじめ檀家外の方々のお参りも多く居られました。住職、檀家、総代、婦人部、地元のご協力により、また土曜開催とあってかわいい子供たちもご参加下さり大盛況でした。本当にありがとうございました。

7月19日〈海の日〉に行なわれた、市重要無形文化財のよみあげ法要（投げ銭供養）は戦死者、初盆の方々の供養を致しました。住職の読経、名前を言われるごとに投げ銭が飛び交い、盛大に供養されました。朝日寺のみの独特な意義ある行事です。

8月15日の水まつりにつきましても総代さん、檀家の皆様のご協力によりご先祖様をお送りいたしました。

11月18日の寺めぐりバスツアーには68名のご参加がありました。福山市の2つの寺へお参りしました。最初は法楽寺にお参りしましたが、住職さんが大歓迎して下さり、気持ちよく参拝ができました。歴史あるお寺でご本尊が朝日寺と同じ薬師如来様でした。何か親近感を覚えました。

二番目の西楽寺は立派なお庭がありました。ここでも住職さんが大歓迎してくれました。このお寺もご本尊が薬師如来様でした。住職さんは共同通信社の元記者をしておられた方で福山市鞆の浦の開発について熱弁されました。その後私たちは鞆で昼食と観光を致しました。寺めぐりをして親睦を図ることが出来ましたことは大変良いことだと思います。日頃親睦を図る機会が少ない中で、寺めぐりの団体旅行は意義あるものですので、今後も続けていきたいと思います。

12月31日大晦日の除夜の鐘には地元の方々が鐘を突きにお参りいただきありがとうございました。

それから寺の事業としまして、上の段の駐車場全体に土が入り一応工事は終了致しました。周囲に排水溝も設置、また本堂境内と駐車場の通路にはアルミ製の扉を設置しました。檀家の皆様のご協力により完成致しました。ぜひお寺に寄って見て下さい。

以上平成22年もおかげさまで行事も工事も無事にできたことに対しまして心より御礼申し上げます。本年もご協力よろしくお願いいたします。昨年は異常気象で特に夏は猛暑で大変でした。本年の気候がどうなるか分かりませんが、これからまだまだ寒さも続きます。また夏は猛暑かも分かりません。どうかお身体に気をつけてお過ごし下さい。

最後になりましたが、皆様方にとって本年が最良の年であります様お祈り申し上げます。

合掌